

令和5年11月16日  
於  
府中市立教育センター

令和5年第11回

府中市教育委員会定例会議事録

府中市教育委員会

令和5年第11回府中市教育委員会定例会議事録

1 開 会 令和5年11月16日(木)

午後2時00分

閉 会 令和5年11月16日(木)

午後2時37分

2 出席者

教育長 酒井 泰 委員 日野 佳 昭

委員 平原 保 委員 増 渕 達 夫

委員 山下 和 則

3 欠席者

なし

4 出席説明員

教育部長 矢ヶ崎 幸 夫 文化スポーツ部長 佐 藤 直 人

教育部副参事兼指導室長 隅 田 登志意 文化生涯学習課長 鈴 木 正 憲

教育総務課長 田 中 啓 信 文化生涯学習課長補佐 斎 藤 麻 美

教育総務課長補佐 若 山 貴 ふるさと文化財課長 江 口 桂

学校施設課長 角 倉 道 晴 ふるさと文化財課長補佐 廣 瀬 真理子

学校施設課長補佐 遠 藤 勝 久 市史編さん担当副主幹 阿 部 憲 靖

学校施設整備担当副主幹 崎 井 優 樹 スポーツタウン推進課長 目 黒 昌 大

学務保健課長 佐 伯 富 丈 スポーツタウン推進課長補佐

給食センター所長 谷 本 耕 一 図書館長 塚 本 淳

給食センター副所長 桐 生 光 章 図書館長補佐 大 沢 力

教育支援担当主幹 菅 原 尚 志 美術館副館長 田 口 宏 治

教育指導担当主幹 濱 田 昌 也 美術館副館長補佐 鎌 田 享

指導室長補佐 南 學 進 指導主事 大 木 忠 厚

指導主事 鈴 木 篤

指導主事 林 達 樹

指導主事 中 尾 友 昭

5 教育委員会事務局出席者

教育総務課主任 徳 永 昭 子

教育総務課事務職員 窪 田 桃 佳

## 議 事 日 程

第1 議事録署名員指名について

第2 会期決定について

第3 議 案

第53号議案

武蔵府中郷土かるたの文化財指定について

第4 報告・連絡

- (1) 寄附の採納及び感謝状の贈呈について
- (2) 郷土の森博物館移動天文観測車ペガサスⅡのご利用について
- (3) ラグビーのまち府中デーの開催について
- (4) 第77回府中駅伝競走大会の開催について
- (5) 企画展「白井美穂 森の空き地」の開催について

第5 その他

第6 教育長報告

第7 教育委員報告

午後2時00分開会

○教育長（酒井 泰君） ただいまより、令和5年第11回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

◇

○教育長（酒井 泰君） 日程第1、議事録署名員指名につきまして、本日の教育委員の議事録署名員は、増淵委員にお願いいたします。

◇

○教育長（酒井 泰君） 日程第2、会期の決定でございますが、会期は本日1日といたします。

◇

◎傍聴許可

○教育長（酒井 泰君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） それでは、許可いたします。

◇

◎第53号議案 武蔵府中郷土かるたの文化財指定について

○教育長（酒井 泰君） 日程第3、第53号議案の審議に入ります。議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○教育長（酒井 泰君） 説明をお願いします。

○ふるさと文化財課長補佐（廣瀬真理子君） それでは、第53号議案「武蔵府中郷土かるたの文化財指定について」、資料に基づきご説明させていただきます。

本議案は、文化財保護審議会より頂いた答申を踏まえ、武蔵府中郷土かるたの文化財指定をお諮りするものでございます。

1 ページをご覧ください。1、名称につきましては「武蔵府中郷土かるた初刷一式及び原画」です。2、員数は、（1）と（2）に記載のとおりで、5、文化財の種別にあるとおり、府中市有形文化財（歴史資料）として指定するものです。所在地、所有者、品質形状及び寸法は記載のとおりとなります。

2 ページをお願いします。以下、要点をご説明させていただきます。7、説明の（1）概要です。本歴史資料は、昭和48年1月に発行され、今日郷土の森博物館に保管する「武蔵府中郷土かるた」の初刷のセット一式と赤羽末吉の手描きによる取り札原画で構成されるもので、歴史資料であるとともに教育資料としての価値を有し、発行当時のものがほぼ改変もなく現在に伝えられてきた郷土かるたは、国内でも稀有な例となります。教育委員会では、これまで15万6,000組ほど発行してまいりました。現在でも市内小学校の第3学年児童全員に郷土学習資料として配布し、小・中学校のふるさと府中学習の教材として活用されております。

続いて、（2）郷土かるた制作の趣旨、作成の経過及び活用の取組ですが、その趣旨は、昭和46年の作製準備委員会の記録によりますと、府中市は国府が置かれた歴史あるまちで、市民や子供たちの郷土愛の醸成を願って、やさしく明るく口ずさめ、親しめる郷土府中のい

ろはかるたを制作するとあり、次代を担う子供たちが楽しみながら郷土の歴史や伝統文化に親しめる教材が求められたものです。取り札である絵札の原画は赤羽末吉の手描きによるもので、赤羽末吉が昭和26年から昭和45年までの20年間、府中市民であったことなどの理由で選ばれたものと考えられます。赤羽末吉は、現在でも多くの子供たちに親しまれている絵本「スーホの白い馬」や「笠地蔵」などで知られる絵本画家で、その美術的価値とともに、優雅で味わいのある絵の魅力も郷土かるたが多くの市民に親しまれてきたことにつながっています。

活用の取組として、教育委員会では「郷土かるた展」の開催、「郷土かるためぐり」標識・標柱の設置、小・中学校の総合的な学習、かるた大会などを実施し、郷土学習の教材としてきました。さらに、郷土の森博物館主催の展示会や府中市の遺産の活用を考える会による武蔵府中郷土かるた選手権大会なども開催され、これまで長きにわたって市民と共に郷土かるたの普及啓発に努めてきたことが分かります。

以上のことから、郷土かるたは過去50年間のみならず、今後も郷土学習のための学校教育資料と位置付けられるだけでなく、府中の長い歴史と伝統が反映された貴重な文化財として、高い価値を有し、郷土の歴史に対する関心と本市に愛着を感じてもらう重要なアイテムであり、市民共有の財産となっていることから、将来にわたって長く保存し、活用すべき文化財として指定をするものでございます。

以下、8と9は記載のとおりで、4ページ、10の指定後の方針につきましては、郷土かるたの文化的・歴史的価値を将来にわたって長く維持するために、初刷一式と原画の保存を図るとともに、学校教育や多くの市民に広く利用されるべく、活用を推進していくものでございます。

続きまして、5ページをお願いいたします。5ページ以下「い」の札から順に、左から郷土かるた初刷の読み札、読み札裏面の解説、取り札、赤羽末吉の取り札原画の4枚を並べて、20ページまで掲載しております。

21ページから最後の25ページは初刷のセット一式、項目所在図と内容一覧、あいさつ状、収納箱となります。

以上で説明を終わります。よろしくご審議くださいますよう、お願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 事務局の説明が終わりました。何かご質問はございますか。

○委員（平原 保君） 郷土かるたは50年余りにわたって配布され、15万組を超える発行組数だとお伺いしました。これは市民の数からいうと、6割程ではないかと思えます。それが50年間ですから、非常に定着した文化になっているもので、この機に文化財指定ということはすばらしいことだと思っています。

この文化財指定を契機とした市民の方への宣伝やアピールなど、その辺りをどのように考えているのかお聞きしたいと思います。

○ふるさと文化財課長補佐（廣瀬真理子君） 文化財指定された後につきましては、マスコミに対して周知するとともに、市民に対してもホームページなどで広く周知を図ってまいりたいと考えております。また、併せて文化財指定となった件だけではなく、今年は郷土かるた作成50周年という節目の年でもありますので、併せて広く周知を図ってまいりたいと考えております。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご質問はございますでしょうか。

○委員（山下和則君） この郷土かるたに関しては、私も小学校のときからやっており、息子と一緒に読み札を読みながらやったこともあります。府中市はお祭りの文化がとても盛んなまちだと思いますが、私が住んでいた地域はそれほどお祭りが盛んではありませんでした。くらやみ祭りなどにも行くのですが、参加することはありませんでした。かるたのようなツールは、市民に対してとても有効だと思いますので、ぜひ50周年を機に、府中市は歴史のあるまちだということ、このツールでPRしてもらえればと思います。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご意見も含め、何かございますか。よろしいでしょうか。

それではお諮りいたします。第53号議案「武蔵府中郷土かるたの文化財指定について」、決定することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○教育長（酒井 泰君） 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎寄附の採納及び感謝状の贈呈について

○教育長（酒井 泰君） それでは、日程第4、報告・連絡ですが、報告・連絡（1）を教育総務課、お願いします。

○教育総務課長補佐（若山 貴君） それでは、資料1の「寄附の採納及び感謝状の贈呈について」をご報告いたします。

今回は7件でございまして、いずれも学校教育の振興に供するために寄附されたものでございます。

1件目の寄附の採納先は、府中第三小学校でございます。寄附品は「おとぎ山」ミニチュア模型、タイムカプセル台座一式、40万円。寄附者は創立70周年記念事業実行委員会及び府中市立府中第三小学校PTA様。受領日は令和5年11月9日でございます。

2件目の寄附の採納先も府中第三小学校でございます。寄附品はスカーフ200枚、14万円。寄附者は府中第三小学校PTA顧問会様。受領日は令和5年11月9日でございます。

3件目の寄附の採納先は、府中第一小学校でございます。寄附品はDVD一式、71万5,000円、フラグー一式、22万円。寄附者は府中第一小学校創立150周年記念事業実行委員会様。受領日は令和5年11月9日でございます。

4件目の寄附の採納先も府中第一小学校でございます。寄附品は紅白幕4枚、3万800円、同じく紅白幕13枚、14万3,000円。寄附者は府中市立府中第一小学校PTA様。受領日は令和5年11月9日でございます。

5件目の寄附の採納先も府中第一小学校でございます。寄附品はメジャーバトン5本、17万8,475円。寄附者は府中市立府中第一小学校旧PTA会長有志様。受領日は令和5年11月9日でございます。

6件目の寄附の採納先は、小柳小学校でございます。寄附品は折り畳み椅子56脚、29万5,769円。寄附者はボートレース多摩川運営協議会会長、浜中啓一様。受領日は令和5年11月9日でございます。

最後に7件目の寄附の採納先も小柳小学校でございます。寄附品は折り畳み椅子62脚、39万9,900円。寄附者は日本中央競馬会東京競馬場場長、秋谷光昭様。受領日は令和

5年11月9日でございます。

なお、府中市教育委員会表彰規程第9条の規定によりまして、委員会が適当と認めたときは感謝状を贈呈できることとなっており、取扱い上10万円相当額以上の寄附を対象としておりますが、6件目及び7件目の寄附者につきましては、感謝状の受領辞退のご意向を示しておりますので、贈呈しないことといたします。

報告は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡（1）について了承いたします。



◎郷土の森博物館移動天文観測車ペガサスⅡのご利用について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、報告・連絡（2）をふるさと文化財課、お願いします。

○ふるさと文化財課長補佐（廣瀬真理子君） 郷土の森博物館につきましては、大規模改修工事に伴い、今年の9月からプラネタリウムを含む本館における博物館活動は休止となっておりますが、アウトリーチ活動を様々行っております。

その中でプラネタリウムに代わる天文事業のアウトリーチ活動としましては、移動天文観測車ペガサスⅡで博物館の外で天体観望会を行っております。今年度は例年に増してPRを行っており、例年以上に稼働しております。特に、雨の日でもミニプラネタリウムが投影できるエアドームも活用しておりますので、利用の幅も広がっております。

具体的には、市内の学校関係や講演での活動、さらには市外でも自治会や子ども会などで利用していただいております。本日は、改めて改修に伴う休館中の博物館のアウトリーチ活動についてご報告させていただきました。今後も来年夏頃まで休館となりますが、このような博物館の外での活動に努めてまいります。以上でございます。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見はございますでしょうか。

○委員（日野佳昭君） コロナでまた利用回数が少なくなったという可能性はあると思うのですが、コロナ前と比べて月にどのくらいの利用があるのでしょうか。コロナ以前に比べて利用回数が増えているのでしょうか。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） コロナ前と比べますと、令和4年度から力を入れており、確実に増えております。令和4年度の実績ですと、一番多い月に3回需要がございました。令和5年度は、学校現場では、8月まではプラネタリウムを見ていただきました。9月以降はプラネタリウムが休止になりましたので、そこで力を入れておりまして、9月は3回、10月は5回でした。11月と12月にかけてさらに増やしていけるよう、現在取組を進めているところでございます。この移動天文観測車の実績としては、確実に昨年より増えている状況でございます。

○委員（日野佳昭君） 私はこの観測車についての知識がなかったのですが、利用していただくために広報しているということを知って安心しています。府中市以外でもどんどん利用していただけるとよいと思いますので、これからも宣伝していただければと思います。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ほかにご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（２）について了承いたします。



◎ラグビーのまち府中デーの開催について

◎第７７回府中駅伝競走大会の開催について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、報告・連絡（３）と（４）を一括してスポーツタウン推進課、お願いします。

○スポーツタウン推進課長補佐（塚本 淳君） スポーツタウン推進課より、資料３及び資料４に基づき、ラグビーのまち府中デー及び第７７回府中駅伝競走大会の開催につきまして、一括してご報告いたします。

初めに、資料３の「ラグビーのまち府中デー」でございますが、本事業はラグビーのまち府中を広くPRするとともに、１２月に開幕するジャパンラグビーリーグワンの新シーズンに向けた機運醸成を図ることを目的として、本市を活動拠点とする東芝ブレイブルーパス東京及び東京サントリーサンゴリアスのご協力の下、市民がラグビーの楽しさを体感することができるイベントを開催するものでございます。

今年度は１１月２６日日曜日にけやき並木通り及びフォーリスけやき広場にて開催し、ラグビー体験コーナーのほか、東芝、サントリー両チームの選手などや女子ラグビー日本代表松田凜日選手、市内女子ラグビーチームの選手などによるトークショーを実施いたします。ラグビーのまち府中ならではの子供たちにとっても親子で楽しめるイベントとなっております。

続きまして、資料４の「第７７回府中駅伝競走大会の開催」でございますが、本事業は多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供するとともに、市内外に府中の魅力を発信することを目的として開催するものでございまして、今年度は令和６年２月１１日の祝日に、前回大会と同様、中心市街地を含む市内周回コースでの開催を予定しております。

この大会は大変長い歴史のある大会でございますが、令和２年度及び３年度は感染症の影響により、また令和４年度につきましては降雪の影響により中止となっております、今年度は４年ぶりの開催を目指すものでございます。

前回開催の令和元年度の大会につきましては、延べ４００チーム、２，０００名以上の参加がございまして、本大会につきましても府中市陸上競技協会と連携・協力しながら、市内外から多くのご参加を頂けるよう大会運営に努めてまいります。

報告は以上でございます。よろしく願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（３）と（４）について了承いたします。



◎企画展「白井美穂 森の空き地」の開催について

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、報告・連絡（５）を美術館、お願いいたします。

○美術館副館長補佐（大木忠厚君） それでは、美術館からお手元の資料５に基づき、次回展覧会についてご報告をいたします。

府中市美術館では、１２月１６日土曜日から２月２５日日曜日まで企画展「白井美穂 森の空き地」を開催します。観覧料などは記載のとおりですが、市内小・中学生は学びのパス

ポートの提示により無料で観覧することができます。

白井氏は1962年に生まれ、東京を中心に活動してきた美術家です。1980年代末にデビューすると様々な素材を組み合わせた大型の立体作品に注目を集め、その後は10年余りをアメリカで過ごします。2006年に帰国してからはピンクや水色といった明るい色が特徴の絵画作品も制作してきました。この展覧会では、白井氏の初期から最新作まで一堂に紹介します。

なお、会期中に常設展示室では府中市美術館の所蔵作品を紹介いたします。また、公開制作室では、双子の美術家、高田安規子、高田政子の両氏による作品制作の様子をご覧いただけます。教育委員の皆様にご覧いただきますよう、ご案内申し上げます。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長（酒井 泰君） 何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告・連絡（5）について了承いたします。



◎その他

○教育長（酒井 泰君） 続きまして、日程第5、その他ですが、何かございますか。よろしいでしょうか。



◎教育長報告

○教育長（酒井 泰君） それでは、日程第6、教育長報告に移ります。活動状況については別紙の「令和5年第11回教育委員会定例会教育委員会活動報告書」のとおりでございます。なお、この報告書は令和5年10月14日から令和5年11月10日までの活動内容となっております。

それでは、私から活動報告書に書いてあることと、また追加でお話をさせていただきます。

最初に、10月21日土曜日から翌22日日曜日まで、石川県小松市で開催されました「全国国府サミット in 小松」に高野市長の代理として参加をさせていただきました。この全国国府サミットは、今から14年前、平成21年に府中市制55周年記念事業として本市で第1回を開催して以来、5回目の開催となりました。

律令時代に国府が置かれた全国の自治体の代表が集い、国府という歴史に裏打ちされた地域の誇りを次の世代に受け継ぐ目的で開催しているものです。今回は全国から12の市の市長または教育長が集まり、歴史、文化遺産を守り、調べ、継承するとした共同宣言を採択いたしました。

本市の小・中学校ではふるさと学習として、府中の歴史、文化等について学んでいますが、今後も学習内容を充実するとともに、全国の国府所在地であった地域と学校教育分野での交流も今後模索していく必要があると思っています。

2点目です。10月28日土曜日に4年ぶりの開催となりました給食展・試食会に参加いたしました。府中産食材を使った給食の試食をはじめ、学校給食センターの見学、調理器具の展示、屋外では給食で提供している食材の販売も行われ、多くの保護者、市民、児童・生徒の訪問がありました。特に、学校給食センターで取り組んでいる食物アレルギー対応食への理解を深めていただく機会ともなったと思っております。

続いて、今年度は小学校6校で周年行事を予定しておりますが、10月21日土曜日に小柳小学校50周年記念式典、11月2日木曜日に南白糸台小学校50周年記念式典、11月10日金曜日に府中第五小学校150周年記念式典が挙行されました。

式典の中での児童代表の言葉がすばらしく、とても感動を覚えました。学校の歴史とともに、現在自分たちが通う学校に寄せられた保護者や地域の方々からの願いや期待を受け止め、これからの学校の在り方や、自分たちが学校生活で大切にしていかなければならないことなどについて深く考えていて、本当に立派だと感じました。これからの府中を担う子供たちがよりよく成長してくれることを願うばかりです。

最後ですが、11月9日木曜日に教育委員会訪問が実施され、府中第一小学校で外国語活動、英語科の授業参観をさせていただきました。4年生の活動は様々な食材を使って自分だけのお弁当を作るというテーマで、食材のシールを児童が英語で会話しながら交換し合うという活動でした。児童が本当に楽しみながら、英語を使ってスムーズに会話ができている姿を拝見することができました。教材開発から準備、そして当日のリズミカルな指導と児童の興味関心を高め、主体的に活動する実践は、先生方が入念に準備されてきた成果であり、とても素晴らしい授業を拝見することができました。

5年生の英語の授業はタブレットを活用しつつ児童の発話を増やす工夫がなされたもので、児童は失敗を恐れず、積極的に自分の考えや思いを英語で表現することができていました。発言の内容が5年生としてはかなり複雑なことも表現しており、自分の気持ちを上手に伝えることができるようになってきている児童が多いことに驚きました。中学校での指導にうまくつなげ、より一層の成長につなげるために、小中連携の重要性を再認識した次第です。私からの報告は以上でございます。

◇

◎教育委員報告

○教育長（酒井 泰君） 日程第7、教育委員報告に移ります。活動状況については、別紙のとおりでございます。

まず初めに、日野委員、お願いいたします。

○委員（日野佳昭君） 10月28日給食展・試食会に参加しました。4年ぶりの開催ということです。今回は中学生の給食を試食し、府中産食材を食べようという企画でした。ハンバーグトマトソース、府中産汁、府中産の梨ゼリーなど大変おいしく頂きました。また、出店コーナーの調味料、リンゴ、パンなどを購入させていただき自宅でも好評でした。

11月2日、南白糸台小学校50周年記念式典、10日、五小150周年記念式典に臨席しました。各学校とも様々な企画に記念誌の制作など大変立派なもので、伝統と歴史を感じます。母校を愛する気持ちがうかがわれ、今後の適正規模・適正配置の議論の難しさを感じました。

11月3日、小学生タグラグビー大会フォーリスカップを参観しました。コロナ後4年ぶりの開催の中、子供たちは元気に一生懸命プレーしていました。ご協力いただいた関係各位に感謝いたします。

11月9日、府中第一小学校に教育委員会訪問をしました。英語の授業は会話が中心の理解しやすい、素晴らしい授業でした。小学校全体でこのような授業が行われれば、英語教育

の充実に役立つと思います。

また、不登校児童へのオンラインを利用した学習支援には機器が足りないこと、適正規模・適正配置に関するご意見としては、府中第一小学校の学級数は多いのではないかとこの意見を伺わせていただきました。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。続いて、平原委員、お願いいたします。

○委員（平原 保君） 先月から今月にかけて3校の周年記念式典に参列をさせていただきました。小柳小学校と南白糸台小学校の創立50周年記念式典、府中第五小学校創立150周年記念式典です。いずれの学校においても、在校生を代表して6年生が威儀を正して式典に出席しているりりしい姿、周年記念をお祝いする喜びに満ちた誇らしげな表情、式典後のアトラクションでのすばらしい記念演奏が強く心に残っています。また、当日に至るまでに熱心にご指導してくださった先生方、ありがとうございます。

さらに、学校と保護者、地域の皆様が一体となって周年記念事業を計画し、周年式典に向けて入念にご準備を進めてくださった熱意とご尽力に、心より敬意と感謝の意を申しあげます。私からは以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。続いて、増淵委員、お願いいたします。

○委員（増淵達夫君） 私は大きく2点、周年行事のことと教育委員会訪問のことについてご報告しようと思います。

まず1点目の周年式典について、ほかの委員からもありましたが、私も小柳小学校、南白糸台小学校、府中第五小学校の周年行事に行きました。今まで小学校、中学校、それから高等学校や特別支援学校にも行ったことがあります。今回の周年行事では、市議会議員さんやスクール・コミュニティ協議会の委員さん、自治会の役員、民生児童委員、地域の文化団体やスポーツ団体、学校教育活動に協力してくださる方、PTAの歴代会長など、本当に多くの方々にご臨席いただきました。子供たちは改めて自分たちの日常の活動が多く地域の方々や関係機関によって支えられているということを実感できたのではないかと思います。

式典は厳粛で清新な雰囲気の中で、その内容や進行には各学校の特色が存分に生かされていたと思います。記念誌や記念品についても、周年行事の趣旨を踏まえて、学校の歴史的な資料という位置付け、もしくは教育的な効果なども踏まえて各学校で工夫されていることがうかがえました。今後とも学校に必要な指導や支援を行いながら、周年行事の意義を踏まえた式典が行われることを期待したいと思っています。

それから2点目、11月9日の教育委員会訪問、府中第一小学校ですが、4年生の外国語活動、5年生の外国語、英語専科の先生の授業を参観しました。まず4年生の外国語活動では、英語での挨拶、そして今日の日付、今日の気分などを大きな声で子供たちが反応していました。活動としては、お弁当を作ろうというテーマで、弁当に入れる具材を友達同士でコミュニケーションしながら、交換していました。英語での発話量がとても多く、外国語活動の充実ぶりを目の当たりにしたように感じます。

5年生の英語では、「What favorite Chinese food?」「あなたは何が好きですか?」というような発問から、一問一答で終わるのではなく、その後次々に質問が展開されるような取組が行われていました。子供たちが多くの人と会話できるように、次々に座席を交代しながらペアワークを行っていくような工夫がされていました。

小学校の教科に外国語が設置されるということが明らかになって以来、その円滑な実施に向けて、様々なところで英語専科の配置や教員の海外派遣等の研修の実施などに取り組んできました。以前は心配なところもありましたが、隔世の感があり、ある意味で中学校や高校が小学校のこの活動に学ぶところが多いのではないかとということも感じました。

また、小学校における英語専科は、小学校独特の課題もありますので、小学校ならではの資質・能力が求められると聞いていましたが、少なくとも府中第一小学校の取組を見る限り、きちんとそれはクリアしていただいております、小学校らしい取組ができているということを実感した次第です。

そして、府中第一小学校で校長先生の学校経営方針を伺った際、子供に残せるものは思い出と生活習慣だとおっしゃっていたことがとても印象に残っています。その校長先生の思いの一端なのでしょう、ロング昼休みというものがあり、15分の清掃の時間を置かない日を設定して、45分の昼休みで友達同士が存分に遊べるような時間を設定しているということです。また、平成23年度からの校庭の芝生化で、子供たちが校庭で元気に活動しているということも伺いました。

一方で、不登校対策、不登校についてはとても悩んでおられるようでした。サポートルームは大変効果があったということで、強調されていました。校長先生は、どの子どもどこにもつながらないということだけは避けたいとおっしゃっていて、学校内外での支援体制が極めて重要であるということを感じた次第です。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございます。最後に、山下委員、お願いします。

○委員（山下和則君） 今回、教育委員活動報告としまして、11月21日に小柳小学校50周年式典、11月2日に南白糸台小学校50周年式典、11月10日に府中第五小学校150周年式典に参列してまいりました。

小柳小学校では、飼育しているヤギをマスコットにしたオリジナルTシャツや、式典前にたまたま行った近所のケーキ屋さんで小柳小学校の児童がデザインしたオリジナルケーキが販売されている等、式典に向けて盛り上がっているように感じました。式典は実にシンプルでよい式典だと思いました。最後の子供たちのアトラクションの演奏も会場全体を盛り上げてくれて、とても清々しい気持ちで帰ることができました。

南白糸台小学校では、ホテルを基調とした50周年オリジナルTシャツを全校児童に作成していました。こちらの式典もシンプルですばらしいものでした。帰りに50周年に作成した校歌碑を見せてもらいましたが、校歌碑の周りの樹木もきれいに手入れされており、地域の絆を感じることもできました。

府中第五小学校では、150周年という歴史の重みを感じました。また、創立150周年記念ミュージアムと題し、子供たちが各学年のテーマごとに一生懸命作成した作品が出迎えてくれました。ご来賓の方々の挨拶の中でも、150周年の歴史の重みや、地域のつながりを感じることもできました。

私自身も、PTA活動をしていたときに周年事業に重なることが多く、学校や地域との連携や企画の運営の大変さを理解しているつもりなので、今回の式典は本当にすばらしかったと思います。

また個人的に、府中市民体育大会でゴルフに参加させていただきました。結果はご想像に

お任せします。ただ、このような大会で、様々な人と同じ市民として参加できたということはとてもよかったと思います。こういった企画で将来スポーツ選手を目指す人もいますし、交流を求める人もいるだろうと思いますので、とてもよい企画だと思いました。以上です。

○教育長（酒井 泰君） ありがとうございました。それでは、これで令和5年第11回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。

————— ◇ —————  
午後2時37分閉会

以上、会議のてん末を記載してその相違ないことを証  
するため、ここに署名する。

令和6年1月18日

府中市教育委員会教育長

酒井 泰

府中市教育委員会委員

増渕 達夫